




令和 4 年度 施策評価表

施策	0601	地域包括ケアシステムの充実	施策担当部	福祉保健部	部長	吉村 武史
			施策担当課	地域包括支援センタ	参事	角野 章子
施策の方針	「プラットおおむら（中心市街地複合ビル）」を拠点に、関係機関と連携しながら、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組を行う。					
関連するSDGsのゴール	  					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R3年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 24時間対応コールセンター (在宅医療サポートセンター) 登録件数	件	112	135 124	155	175	195	215	91.9%	57.7%
②									
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

登録件数は緩やかに増えてはいるが、目標値を達成するまでの伸びがない。急変時にも安心して医療が受けられる仕組みであり、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、関係機関と協力し市民への周知を図る。

施策経費

(単位:千円)		R3年度 決算	R4年度 予算	R5年度 見込	特記事項
内訳	事業費	54,303	80,331	70,111	
	国庫支出金	11,333	11,561	11,499	
	県支出金	34,354	54,482	44,384	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	8,616	14,288	14,228	
	人件費	14,367	13,025	—	
フルコスト	68,670	93,356	—		

施策の概要（細施策）

060101	地域包括ケアシステムの充実	<p>要介護状態になっても、誰もが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、関係機関と連携し、地域の身近な相談窓口の開設や自宅でも適切な医療を受けられる体制づくりなど、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供できる地域包括ケアシステムの更なる充実を図ります。</p> <p>特に、在宅医療を提供する医療機関と介護サービス事業所等との多職種連携や緊急時の病診連携を進めるなど、在宅療養環境の整備を目指します。</p>

**【CHECK（評価）施策担当部長】**

**施策を達成する上での問題点・課題**

本市の高齢化率は、国及び県の平均を下回っているものの毎年上昇しており、今後も伸びていくものと推測される。一方、地域医療構想や地域医療計画に基づいた病床の機能分化によって在宅療養への移行が進むことに伴い、在宅療養環境の整備が必要となる。そのため、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築を着実に進める必要がある。

**【ACTION（改善・改革）】**

**上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方**

新型コロナウイルス感染症の拡大により医療機関での家族の看取りが難しくなっていることで、在宅看取りの事例も増えてきている。在宅看取りの実態や関係機関の連携状況等を把握し、同時に市民へのACP（アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発も図りながら、必要な環境整備に努める。

**令和5年度新規事業**

	事業名	担当課	令和5年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	